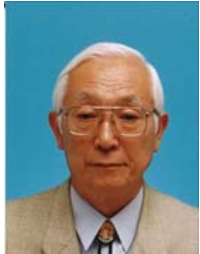


渡邊萬次郎賞第36回受賞者

島崎 英彦 永年会員

授賞理由



島崎英彦永年会員は、東京大学理学部地学科地質学鉱物学課程を卒業後、大学院へ進学して鉱床学を専攻され、スカルン鉱床の成因やその火成岩との関連の解明に多大な業績を上げられました。そして30年以上にわたり東京大学理学部地質学教室で鉱床学の教員を勤められ、後進の指導とともに日本の鉱床学の第一人者として常に日本の鉱床学を牽引され、当時日本で稼行されていた殆どの鉱山を精査するなど功績を残されました。

また東京大学在任中に、カナダのマギル大学、サスカチュワン州立研究所やメキシコのエルモシージョ大学で鉱床学の共同研究を進められました。東京大学を退職した後は、中国科学院地質・地球物理研究所（在北京）の鉱物資源探査研究センターでの日中共同プロジェクトに参画され、現地の研究者との共同研究によって、中国の金属資源の探査・開発に貢献をされました。一方、鉱物学の分野でも、都茂鉱、定永閃石、張培善石など数種類の新鉱物の発見に寄与され、櫻井賞(第19号：都茂鉱)を受賞されておられます。

このように、島崎英彦永年会員の長年にわたる鉱床学に関する研究業績、幅広い教育活動、そして国内外の金属資源探査・開発への顕著な貢献は渡邊萬次郎賞の授賞にふさわしいものと判断され、今回同賞を授与するものであります。

島崎英彦永年会員の略歴

1939年6月2日生まれ

- 1963年 3月 東京大学理学部地学科地質学鉱物学課程卒業
- 1965年 3月 東京大学数物系大学院地質学課程修士課程修了
- 1968年 3月 同 博士課程修了 理学博士
- 1968年 4月 東京大学総合研究資料館助手
- 1968年 9月 カナダ マギル大学 フェロー
- 1970年 9月 同 サスカチュワン州立研究所 フェロー
- 1971年 9月 東京大学総合研究資料館へ復職
- 1971年10月 東京大学理学部地質学教室 助手
- 1972年 2月 東京大学理学部地質学教室 講師
- 1975年 4月 東京大学理学部地質学教室 助教授
- 1987年11月 東京大学理学部地質学教室 教授
- 1992年 4月 東京大学大学院理学系研究科地質学専攻 教授（改組による）
- 1999年 8月 同 定年退職
- 2000年 5月 東京大学大学院理学系研究科名誉教授
- 2020年 9月 現在に至る